

(作成例)

係員	係長	課長

工事安全対策自己点検チェックリスト

※本チェックリスト及び事務所意見は施工現場における受注者(安全管理責任者)を支援するものであり、チェックリストに当該工事現場に必要な項目を作成、活用し安全対策の充実を図るものです。個別の現場の安全対策を規定するものではありません。

事務所名： ○○県土整備事務所

点検日： H○年○月○日 点検者： 福岡 太郎

起工番号： _____

工事名： ××道路新設工事 工事 印

請負業者： (株)○○土木 主任(監理)技術者：福岡 太郎

項目	細別	チェック項目	チェック欄	
安全点検項目	立入り禁止措置	作業中の区域は、周囲と明確に分けるため、さく等で隙間なく囲っているか	○	
		関係者以外立入り禁止の表示をしているか	○	
		資材置場はさく等で囲っているか	○	
		建設機械の作業範囲の立入り禁止処置、または誘導員による接触防止対策をとっているか。	○	
		夜間及び暗闇(隧道・建物内部等)作業場所には必要な照明器具が設置されているか	-	
	服装・保護具	作業に応じた安全靴を着用しているか	○	
		ヘルメット未着用、袖まくり等の服装のみだれはないか	○	
	全般	異常気象時の対策は十分か(雨、風、避難経路の確認等)	○	
		掘削は安全な勾配か。	○	
		作業に応じて、必要な作業指揮者・監視員等を配置しているか	○	
掘削肩付近に物を置いていないか。		○		
		立木の伐倒について合図を決めて作業しているか。危険を生じる恐れがあるものを取り除いているか。	-	
公衆災害防止項目	車両	一般車両が通行する箇所の段差対策をしているか	○	
		ガードマンは適切に配置しているか	○	
		運搬車両の過積載は行っていないか	○	
	歩行者	歩行者の通行を開放している箇所の段差には、段差対策と注意喚起等の表示をしているか	○	
		歩行者の通行に危険な箇所(端部からの転落、突起物等)には、柵、危険表示等をしているか	○	
		バス停利用者等の安全を確保しているか	-	
			現在行っている主な工種を記入して現在行っている主な工種を記入してください。	○
			電線の保護	○
			ケーブルが車	○
			の接地(ア	○
		等の確認	○	
		安全確認チェックリスト等の対象工種もしくは、独自のチェック項目を記入して下さい。	○	
		安全確認チェックリスト等別のチェック様式にて安全確認を行う場合は[別紙]と記入し、チェック様式を添付して下さい。	○	
各作業災害防止関係(労働災害防止項目)	掘削工	土砂オープンカット(バックホウ掘削)	別紙	
		土砂片切(人力併用機械掘削)	別紙	
	土留め工	切梁・腹起し設置撤去	別紙	
	○○工	○○○○はしているか。	○	
	○○工	○○○○はしているか。	○	
	○○工	○○○○はしているか。	○	

事務所意見欄	

※記入例 良：○ 否：× 該当なし：-

※行が足りない場合追加してください。

(記入方法)

1. 項目の「安全点検項目」、「公衆災害防止項目」についてはチェック項目に沿ってチェックをしてください。
2. 項目の「各作業災害防止項目」については、現在の作業工程(概ね1カ月程度)における主な作業における点検項目を作成してください。

【手順】

- (1) 点検時(直近1ヶ月程度)の工程に合わせ対象となる工種を記入する。
- (2) 細別、チェック項目に工種に必要な安全点検項目を記載しチェックを行う。
他のチェックシート等(参考：安全確認チェックシート(建設機械施工安全マニュアル 国土交通省))を用いる場合、細別チェック項目にその対象工種を記入し、チェック項目には別紙と記入する。
- (3) 他のチェックシートを使用する場合は、用紙を資料に添付する。
※建設機械施工安全マニュアルは直方県土HP「土木関連情報リンク」からダウンロードできます。

(提出)

1. チェックリストを作成・更新した時点で提出して下さい。
2. 毎月1回チェックリストによる安全点検実施結果を「安全・訓練等活動報告書」と合わせ提出して下さい。

○安全確認チェックシート(建設機械施工安全マニュアル 国土交通省)の使用例

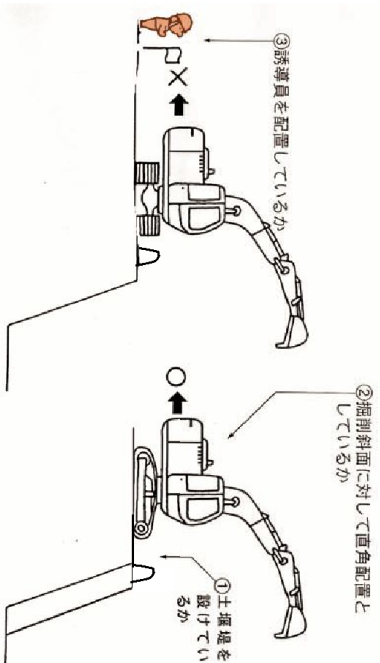
土砂オーブツカッタ(バツクホウ掘削)

現時点での作業に合うチェックシートを添付ください。

確認年月日: ○月○日
 確認者: 福岡太郎

作業工程	作業手順	安全確認事項	確認結果			
			福岡	チェック欄		
1.準備工	・作業前の打合せ	・地山の地形、地質、亀裂、湧水の有無を点検する。 (則 154) ・運送物の有無を確認する。 ・運転者の有資格を確認する。(令 20 則 73) ・掘削作業主任者を適任する。(則 359) ・作業ヤードへの、関係者以外立入禁止措置をする。 (則 365)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.掘入	・トレーラにより場内納入 ・トレーラからの降るし	・十分な長さ、幅及び強度を有する道板を荷台に確実に掛ける。 ・道板勾配は 1.5° 以下とする。 ・架空線と機械等の接触防止、防護措置を確る。 (法 29 の 2、則 349) ・トレーラの前止めを確認する。 ・作業時はシートベルトを着用する。 ・掘削、傾斜地の掘削時は、機械の落下、転倒防止のため誘導員を配置し、法面部は土壌露を露ける。 (①) (則 158) ・地下掘削の場合、クローラは非常の際に退避出来るように法面直角とする。(②) ・掘削機等の掘削位置、掘削深度を機械の寸法以上確保する。 ・立入禁止範囲を明示する。(則 365) ・鉄道に接触するときは、斜面上部を等して車体を水平にする。 ・機体の尻を浮かせて掘削しない。 ・掘削中に旋回したり、旋回力を利用して土の増長しやめしをしない。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.掘削	・掘削の災害防止	・オハシエがキャブを出る時等、機械による作業を中断する場合、(掘削ロットレバー操作時は)掘削ロットレバーを押し、ロットクをかける。 ・掘削時は「キー」を抜く。 ・掘削作業半途中で作業員が作業するときは、旗を立て、誘導員を配置する。(③) (則 365) ・機械に近付くときは、合図をし運転者の了解を得る。 ・掘削作業範囲から無関係で連絡合図を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

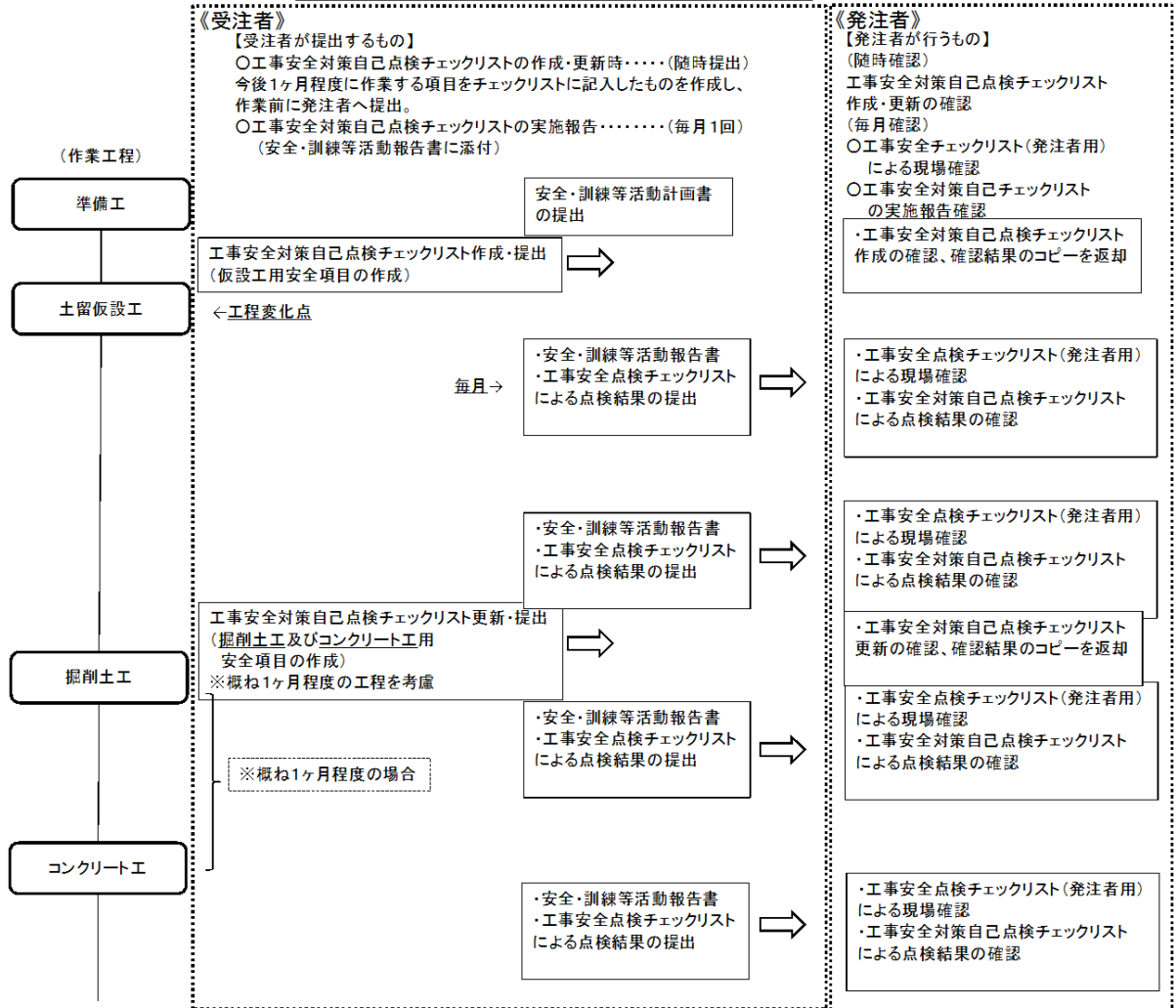
安全を確認した項目は
 チェックして下さい。



当該工事に該当しない項目は
 削除して下さい。

(注)事項には、確認の結果対応した事項を記入する事

工事安全対策自己点検チェックリスト活用イメージ



※概ね1ヶ月程度の工程を考慮したチェックリストを作成